

アンケート集計結果【平成 26 年度第4回】

今回のテーマは「SNS」でした。

市では、ソーシャルネットワークサービス（SNS）を利用し、市内外にまちの魅力などを発信するため、Facebook・Twitterの公式アカウントを取得し、利用しています。

市民が利用する時代に合ったWEBサービスを常に提供し続けるため、実施しました。

- ◆たなモニ登録者数 139 人
- ◆アンケート実施期間 平成 27 年 3 月 18 日(水)～4 月 3 日(金)
- ◆回答者数(回答率) 33 人(23.74%)
- ◆担当課 秘書広報課(電話 0774-64-1320)

1. アンケート結果

※各設問の N は、設問に対する有効回答者数を意味します。

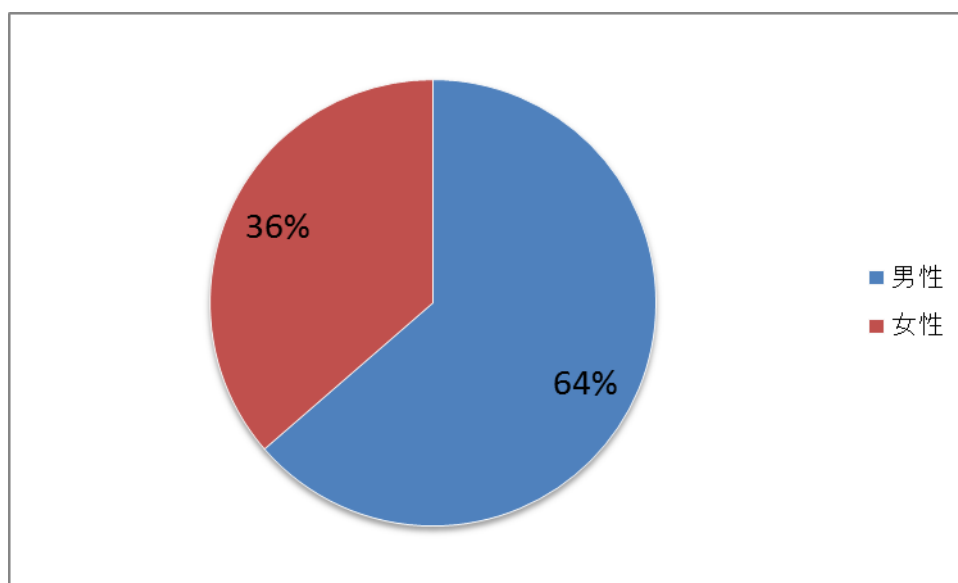
※割合(%)は小数第 2 位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答は合計が 100%にならない場合があります。

※複数回答の設問は、割合の合計が 100%を超える場合があります。これは、回答総数ではなく、有効回答者数を分母としているためです。

※本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、語句を簡略化し表示しています。

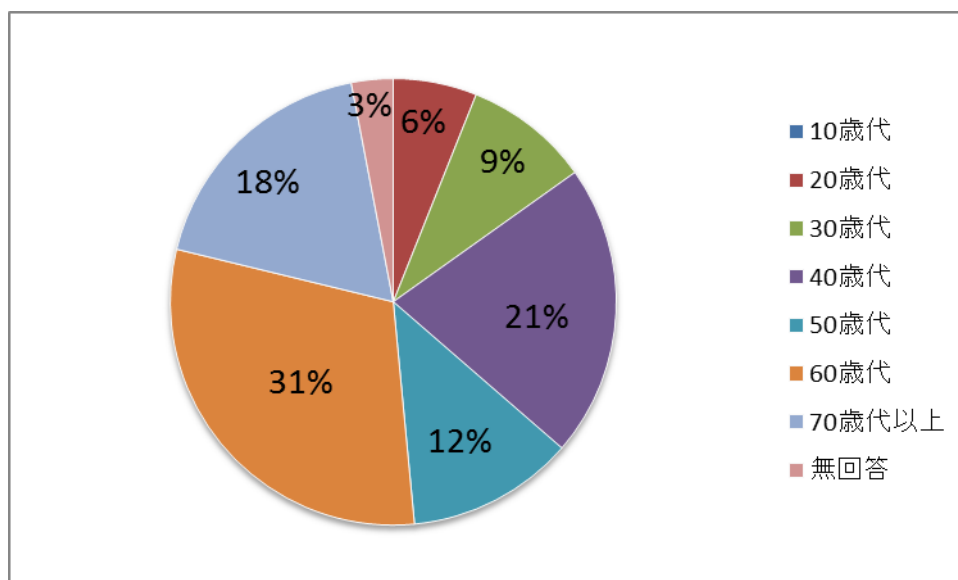
問1 あなたの性別は。

[択一選択・N=33]



問2 あなたの年齢は。

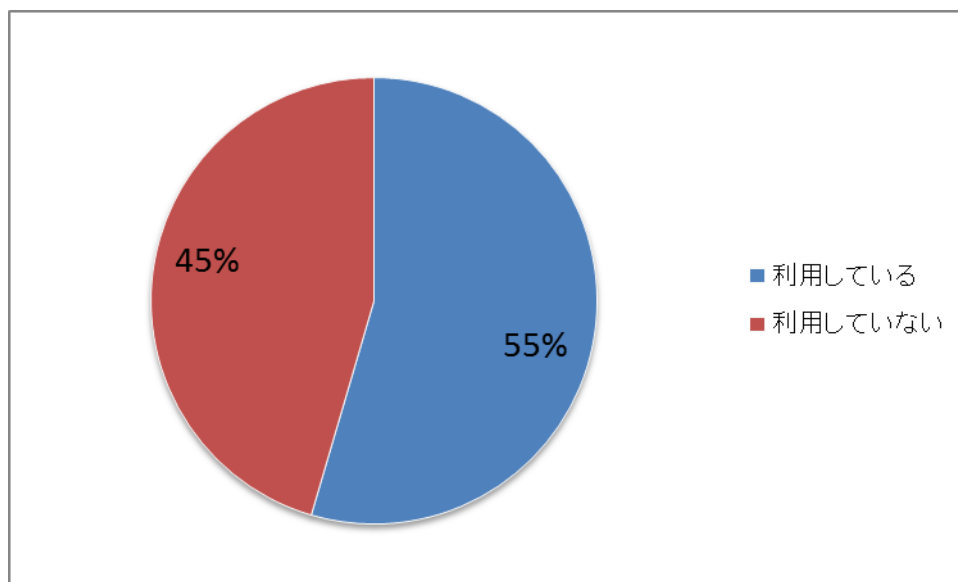
[択一選択・N=33]



10歳代の回答はありませんでした。

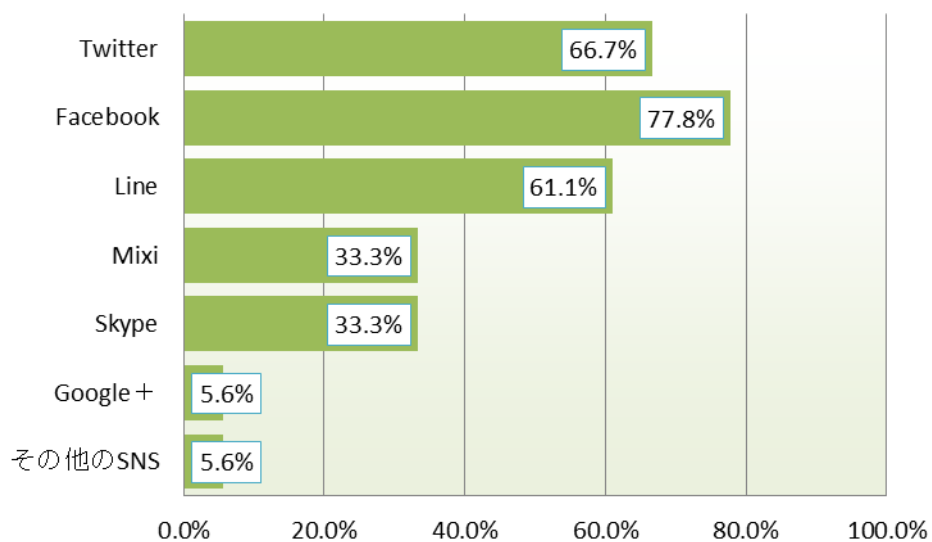
問3 あなたはソーシャルネットワークサービス（以下。「SNS」という）を利用していますか。（利用していない人は問8へ）

[択一選択・N=33]



問4 あなたがアカウントを取得し、利用しているSNSはなんですか。

[複数選択・N=18]



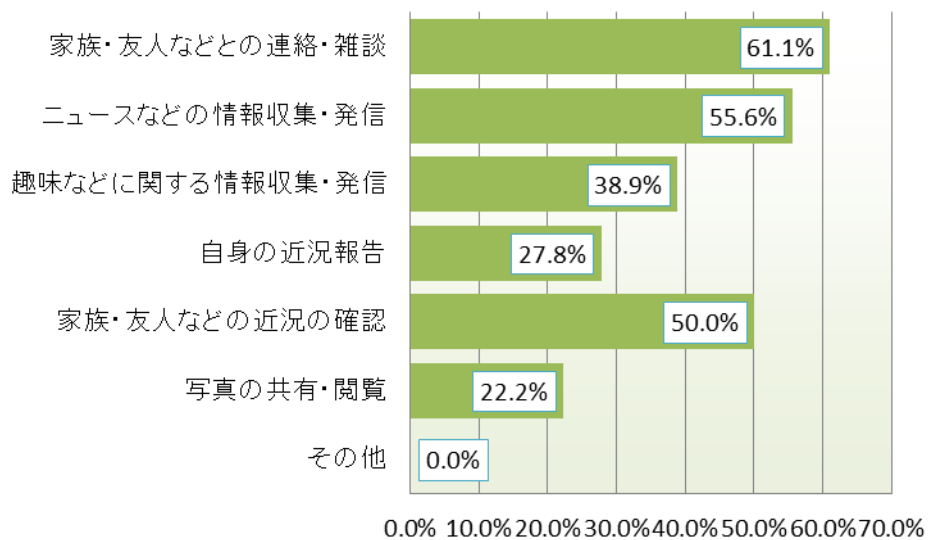
問5 (問4で「その他のSNS」と答えた方へ) 利用されているSNSは何ですか。

[自由回答]

回答
ブログ、ホームページで情報交流や意見交換を行っている。
携帯電話

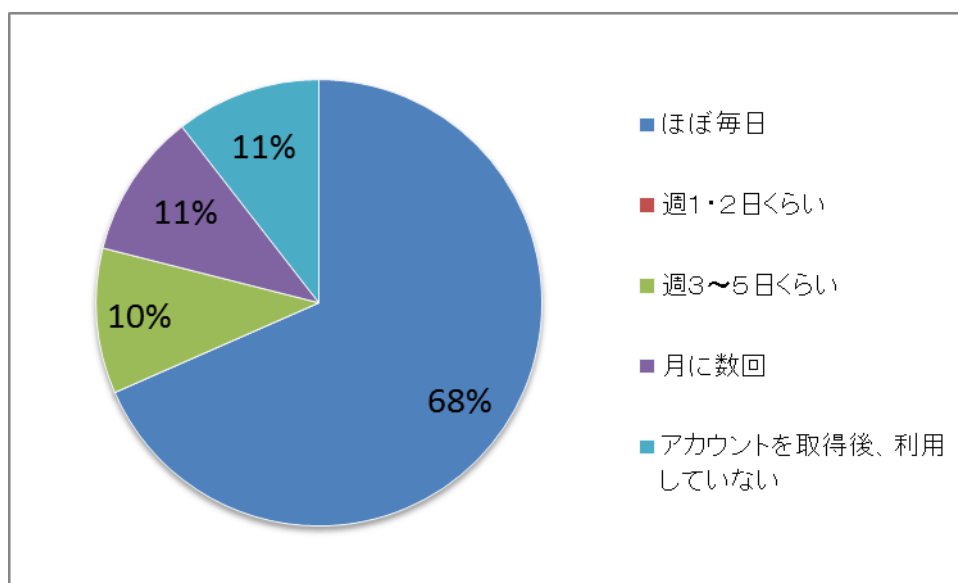
問6 あなたがSNSを利用する目的はなんですか。

[複数選択 N=18]



問7 あなたはどのくらいの頻度でSNSを利用していますか。

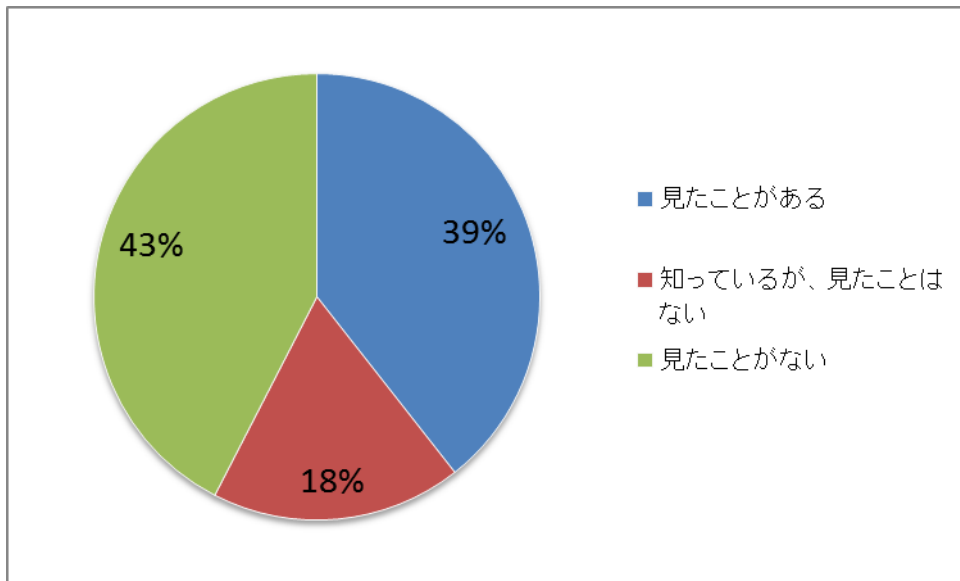
[択一選択 N=18]



「週1・2回くらい」という回答はありませんでした。

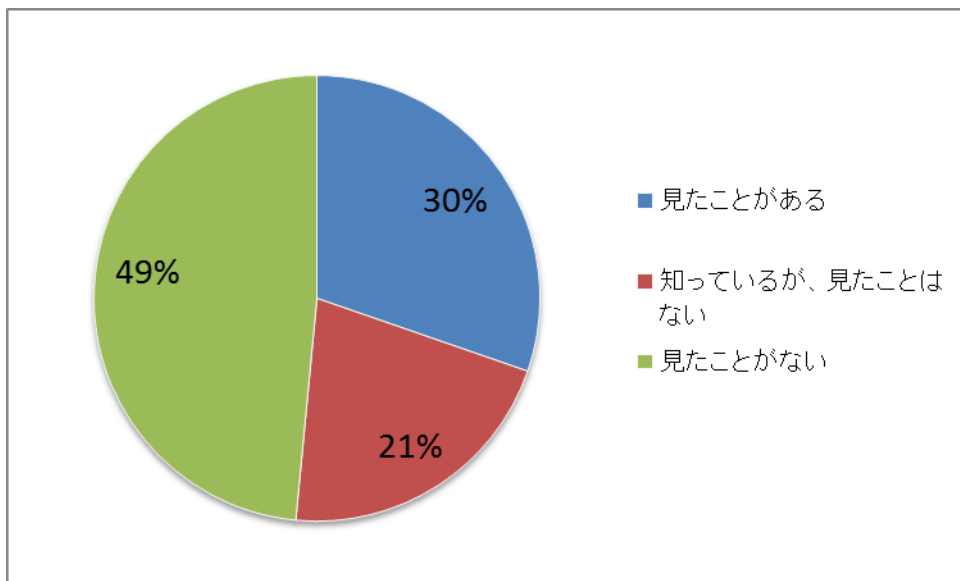
問8 京田辺市公式フェイスブックを見たことがありますか。

[択一選択・N=33]



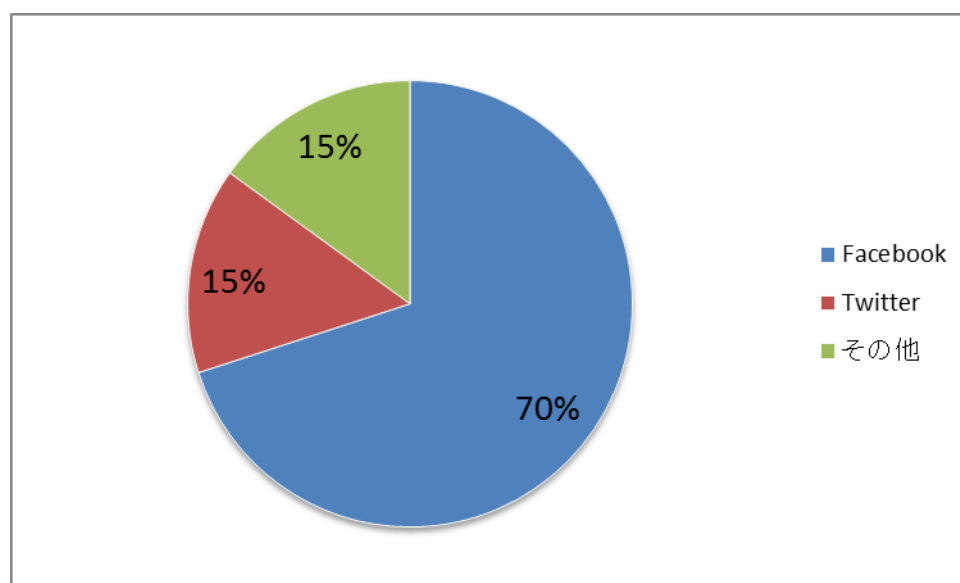
問9 京田辺市公式ツイッターを見たことがありますか。

[択一選択・N=33]



問10 (Q8と9で「見たことがある」「知っているが見たことはない」と答えた方へ) 市公式アカウントとして、どちらのSNSを今後も運用して欲しいですか。

[択一選択・N=33]



問11 京田辺市公式FacebookやTwitter、ホームページに対してご意見があればお願いします。

[自由記入]

・	京田辺市公式 Facebook や Twitter は、利用したことはありません。
・	フェイスブックやツイッターへのアクセス方法が分からない。
・	早期に利用したい。
・	SNSの主たる目的は、情報交流。現在は、第1段階の一方向的な発信だけである。市民の声を広くタイミングよく聞き正しく判断し、説明し対応するように持っていくことが重要。それが市民参画の市政にもつながることである。そのためには、市長や幹部自らが日々SNSを使う姿勢を示さないと市の飛躍的な発展拡大が望めないと思う。市・市民の意識改革に、SNSを有益に使っていくべきである。そのためのIT/ネット/SNS講習会を開催すべきであり、必要あれば協力もしたく思っている。地方創生には、地方自治体もこれらを選り抜けて通れなくなっていることを強く自覚して行動を起こしてほしいものである。

・	とてもいい事だと思うぜひ続けていただきたい。
・	多くの自治体で実施していて差別化は難しい。特化して分野を限って発信しないと結局伝えてるけど伝わらないとなるのではないか？
・	自治体の SNS はあまり効果的でなさそう。ほかの自治体のものをいくつも見たことがあるが、あまり参考にならないので。
・	まだホームページしか 見たことはありません。
・	特に必要ないと思います。流行に流されないように。
・	<p>Facebook は大嫌い。こんなのに京田辺市の広報を載せる必要はない。かって小生も登録したことがある。そうすると見知らぬ人から友達になりましょうといっぱいお誘いが来た。或いは自動的にかこんな人と友達になりませんかとお誘いが来た。アホクサイから全部断って、それ以来見たことはない。共同で何らかの仕事や勉強や活動をする人或いは昔やった人とは交流してもよいけど、全く見知らぬ人とコレポンやっても何の面白味もない。(もっとも高校生のころはアメリカ人女性と文通やった。これは英語の勉強のためだった。おかげで大学入試の時英語の作文はなんとかできたけど。)</p> <p>Twitter も登録したことがある。何回か投稿者の意見を読んでみたが、なんかレベルが低い。感情的な意見が多く読む気が失せた。その上ぜひ投稿をと自動的にしょっちゅうメールが来るのでうるさくなってやめてしまった。</p> <p>と言うわけで小生にとって Facebook も Twitter も何の役にも立たない。毎月京田辺市の広報誌が自治会から配布されたら欠かさず読んでいるからご心配なく。</p>
・	京田辺市の公式 Facebook や Twitter は、初めて知ったのでこれからは見てみようと思います。

たくさんのご意見をありがとうございました。

【担当課からのコメント】

たなモニのみなさん、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

お答えいただいたアンケートは、市政や地域の話題など、京田辺市の魅力を市内外に発信するため、今後の広報活動として参考にさせていただきます。今後も引き続きアンケートへのご協力をお願いします。

さて、近年のWEB技術は目覚ましい進歩を遂げています。パソコンなどに加え、携帯電話やスマートフォンなどから気軽に情報を取得することができます。市は、タイムリーな情報を発信するための広報媒体とし、WEBを使った広報、特にSNSの活用が効果的であると考えています。

しかし、SNSを利用する際に、個人情報の流出を心配する人や、WEB知識が不足している人にとっては、触れにくいツールであることも確かです。市では、フェイスブックやツイッターなどを初めて利用する人のため、仲間やグループで楽しく活用できるよう出前講座としてメニューを設けています。ぜひご利用ください。

今後も引き続きアンケートへの協力をお願いします。